

平成24年度 情報理工学部
入学者選抜要項



国立大学法人
電気通信大学
Unique & Exciting Campus

<http://www.uec.ac.jp/>

目 次

I. 入学者受入れ方針（アドミッションポリシー）	1
II. 入学定員及び募集人員	2
III. 平成24年度 電気通信大学入学者選抜の実施教科・科目等について	3
IV. 一般入試の方法	6
1. 出願資格	6
2. 平成24年度 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目	7
3. 個別学力検査	7
4. 配 点	8
5. 合格者の決定	8
6. 第1段階選抜	8
7. 一般入試実施日程	8
V. 平成24年度 電気通信大学入学者選抜方法等	9
1. AO入試（「社会人コース」）	10
2. AO入試（「インターンシップコース」）	11
3. 推薦入試	12
4. 帰国子女入試	13
5. 私費外国人留学生入試	14
VI. 障害がある者等の出願	15
VII. 学生募集要項の配布	15
VIII. 電気通信大学の紹介	18

I. 入学者受入れ方針（アドミッションポリシー）

情報理工学部

人類の持続的発展のためには、20世紀型の物質文明から脱却し、人々が心豊かに生き甲斐を持って暮らせる社会とする必要があります。そのためには「人と人」、「人と自然」、「人と社会」、「人と人工物」のコミュニケーションを基軸とする新たな文明の創造が必須です。

電気通信大学は、そのような新しい社会を「高度コミュニケーション社会」と名付け、それを支え牽引する総合科学技術の分野として「総合コミュニケーション科学」を創造し発展させることにより、21世紀の社会と世界に貢献します。

【総合情報学科、情報・通信工学科、知能機械工学科、先進理工学科】

「総合コミュニケーション科学」の基盤となる理工学分野、特に情報、通信、エレクトロニクス、メカトロニクス等を基軸とする科学技術分野において、国際標準の基礎学力と学士力を身に付け、国際性と実践力を伴う確かな専門基礎力と継続的学習能力を持ち、社会との関わりの中で大きく発展していくことのできる人材を育成します。そのために、以下のような資質・能力・意欲を持った学生を広く国内外から受け入れます。

【求める学生像】

「総合コミュニケーション科学」とその基盤となる自然科学に強い興味と探究心を持ち、その学習のために必要な基礎学力を有し、修得した知識と技術を活用して広い視野から社会の発展に貢献したいという意欲に溢れる人

【先端工学基礎課程(夜間主)】

勤労学生・社会人に対して「総合コミュニケーション科学」に関わるものづくりに必要な専門教育の機会を提供するために、夜間主課程を設置しています。産業界における技術的課題を工学的に読み解き解決するために必要な基礎力及び応用力を身に付けた専門的職業人を育成します。そのために、以下のような目的意識を持った学生を広く受け入れます。

【求める学生像】

「総合コミュニケーション科学」とその基盤となる自然科学に関する知識と技術の修得に努め、ものや仕組みの創造を通じて広い視野から社会の発展に貢献したいという意欲に溢れる人、および、技術革新の進展や産業構造の変化に対応して、新しい知識や技術を修得し社会の発展にさらに貢献したいとする社会人

【高校段階での修得が望ましい教科内容と水準】

1. 数学は、基本的な概念や原理・法則を理解し、事象を論理的に考察し数学的に処理する能力を有していること、特に、数学Ⅲ及び数学Cまでの履修が望ましく、高校の教科書にある様々な関数のグラフを描くことができ、それを使って決められた範囲の面積が求められること、加えて、行列演算に関する基礎知識を有し理解していること
2. 理科は、出来るだけ多くの科目に興味を持ち、正しい自然観・宇宙観が育まれていること、特に、物理Ⅱ、化学Ⅱの履修が望ましく、物理では、力学、電磁気学、熱、波動などに関連する現象を論理的かつ数理的に捉えてそれを説明でき、化学では、化学結合の概念や物質の構造を理解し、化学の成果が日常生活の様々なところで役立っていることを認識し説明できること
3. 英語は、基本的な読解力・コミュニケーション能力に加え、平易な英文を辞書なしで読み進んでいくことのできる語彙力・文法力や、あるトピックを一つのパラグラフ程度にまとめることのできる英作文能力を有していること
4. 国語は、自分の考え方を相手に伝えられる基本的な文章力と口頭表現力を有すること
5. 他の教科・科目については基礎レベルの知識・理解を有すること

（注）水準はあくまでも高校における学習の目安であり、履修の有無でもって合否判定するものではありません。

Ⅱ. 入学定員及び募集人員

学部	学 科 (課 程) 3年次からの専門コース 及びプログラム	入学 定員	募 集 人 員					
			一 般 入 試		特 別 選 抜			
			前期 日程	後期 日程	AO入試 「社会人 コース」	AO入試 「インターン シップコース」	推薦入試	帰国子女 入試
情 報 理 工 学 部	総合情報学科 メディア情報学コース 経営情報学コース セキュリティ情報学コース	名 150	名 90	名 45	名 —	名 —	名 15	若干名
	情報・通信工学科 情報通信システムコース 電子情報システムコース 情報数理工学コース コンピュータサイエンスコース	210	126	63	—	—	21	若干名
	知能機械工学科 先端ロボティクスコース 機械システムコース 電子制御システムコース	140	84	42	—	—	14	若干名
	先進理工学科 電子工学コース 光エレクトロニクスコース 応用物理工学コース 生体機能システムコース	190	114	57	—	—	19	若干名
	小 計	690	414	207	—	—	69	若干名
	先端工学基礎課程(夜間主) 情報・メディア・通信プログラム 電子・機械・制御プログラム	100	—	—	50	50	—	—
	合 計	790	414	207	50	50	69	若干名

- (注) 1. 先端工学基礎課程(夜間主)…授業は、平日の17時50分から21時までと、土曜日の9時から17時45分までに開講されます(この時間帯のすべてに授業があるわけではありません)。他の4学科の一部の授業を受けることもできます。
2. 帰国子女入試は、前期日程と同時期に行われ、募集人員(若干名)は、前期日程の募集人員に含まれます。
3. 推薦入試の入学手続者が、募集人員に満たない場合は、その不足した人員を前期日程の募集人員に加えます。
4. AO入試「社会人コース」の入学手続者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員をAO入試「インターンシップコース」の募集人員に加えます。

Ⅲ. 平成24年度 電気通信大学入学選抜の実施教科・科目等について

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成23年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								その他の 選抜方法 等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文		配点 合計	
情報理工学部 [5.4] 690人 前期414 後期207 その他69	総合情報学 科 150人	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数	『国』 「世B」「日B」「地理B」 「現社」「倫」「政経」「倫、政経」 『数Ⅰ・数A』 『数Ⅱ・数B』	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B・数C 物Ⅰ・物Ⅱ, 化Ⅰ・化Ⅱから1 英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング・ ライティング	センター試験	100	*50	*50	100	100	100		450	推薦 帰国子女 外国人	
							個別学力検査				200	100	100		400		
							計	100	*50	*50	300	200	200		850		
		後期 3月 12日	理 外	「物Ⅰ」「化Ⅰ」「生Ⅰ」「地学Ⅰ」から2 『英』『独』『仏』『中』『韓』から1 〔5教科7科目〕	センター試験	50	*50	*50	50	100	50		300	追加合格			
					個別学力検査				300	200	100		600				
					計	50	*50	*50	350	300	150		900				
	情報・通信 工学科 210人	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数	『国』 「世B」「日B」「地理B」 「現社」「倫」「政経」「倫、政経」 『数Ⅰ・数A』 『数Ⅱ・数B』	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B・数C 物Ⅰ・物Ⅱ, 化Ⅰ・化Ⅱから1 英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング・ ライティング	センター試験	100	*50	*50	100	100	100			450	推薦 帰国子女 外国人
							個別学力検査				200	100	100			400	
							計	100	*50	*50	300	200	200			850	
		後期 3月 12日	理 外	「物Ⅰ」「化Ⅰ」「生Ⅰ」「地学Ⅰ」から2 『英』『独』『仏』『中』『韓』から1 〔5教科7科目〕	センター試験	50	*50	*50	50	100	50		300	追加合格			
					個別学力検査				300	200	100		600				
					計	50	*50	*50	350	300	150		900				
知能機械工 学科 140人	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数	『国』 「世B」「日B」「地理B」 「現社」「倫」「政経」「倫、政経」 『数Ⅰ・数A』 『数Ⅱ・数B』	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B・数C 物Ⅰ・物Ⅱ, 化Ⅰ・化Ⅱから1 英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング・ ライティング	センター試験	100	*50	*50	100	100	100			450	推薦 帰国子女 外国人	
						個別学力検査				200	100	100			400		
						計	100	*50	*50	300	200	200			850		
	後期 3月 12日	理 外	「物Ⅰ」「化Ⅰ」「生Ⅰ」「地学Ⅰ」から2 『英』『独』『仏』『中』『韓』から1 〔5教科7科目〕	センター試験	50	*50	*50	50	100	50		300	追加合格				
				個別学力検査				300	200	100		600					
				計	50	*50	*50	350	300	150		900					
先進理工学 科 190人	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数	『国』 「世B」「日B」「地理B」 「現社」「倫」「政経」「倫、政経」 『数Ⅰ・数A』 『数Ⅱ・数B』	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B・数C 物Ⅰ・物Ⅱ, 化Ⅰ・化Ⅱから1 英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング・ ライティング	センター試験	100	*50	*50	100	100	100			450	推薦 帰国子女 外国人	
						個別学力検査				200	100	100			400		
						計	100	*50	*50	300	200	200			850		
	後期 3月 12日	理 外	「物Ⅰ」「化Ⅰ」「生Ⅰ」「地学Ⅰ」から2 『英』『独』『仏』『中』『韓』から1 〔5教科7科目〕	センター試験	50	*50	*50	50	100	50		300	追加合格				
				個別学力検査				300	200	100		600					
				計	50	*50	*50	350	300	150		900					

○前期・後期日程

【学部・学科等名及び入学定員等】欄

前期は「前期日程」、後期は「後期日程」、その他は「推薦入試」の募集人員を表します。

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

1. 地理歴史・公民について、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を用います。
2. 『英語』は、筆記試験とリスニングを利用します。

【個別学力検査等】欄

1. 数学は、次の範囲から出題します。
数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A：すべての範囲
数B：「数列」、「ベクトル」
数C：「行列とその応用」、「式と曲線」
2. 理科は、次の範囲から出題します。
物Ⅰ：すべての範囲
物Ⅱ：「力と運動」、「電気と磁気」、「物質と原子」の「原子、分子の運動」
化Ⅰ：すべての範囲
化Ⅱ：「物質の構造と化学平衡（物質の状態、反応速度を含む）」
ただし、素材としては「生活と物質」、「生命と物質」の内容を用いることはあり得る。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

1. 配点に*印を付してある教科は選択科目を表します。
2. 大学入試センター試験の配点は、前期日程に関しては、それぞれの教科・科目の得点（素点）を一律に1/2倍（900点満点を450点満点到換算）します。ただし、外国語のうち『英語』については、筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点250点満点を4/5倍し、200点満点到換算したものを得点（素点）とします。なお、『英語』以外の科目を受験した者及びリスニングを免除された者については、筆記試験（200点満点）の成績を得点（素点）とします。
後期日程に関しては、それぞれの教科・科目の得点（素点）を次のとおり換算します。
国語1/4倍、地歴・公民1/2倍、数学2科目の合計得点を1/4倍、理科2科目の合計得点を1/2倍、外国語の『英語』については、筆記試験とリスニングの合計得点を1/5倍、『英語』以外の科目を受験した者及びリスニングを免除された者については、1/4倍。
3. 個別学力検査（後期日程）で課す理科の配点は、物理を130点、化学を70点とし、計200点満点とします。

【その他の選抜方法等】欄

1. 入学手続完了者が募集人員に満たない場合には、合格者の追加を行うことがあります。
2. 「推薦」は推薦入試、「帰国子女」は帰国子女入試、「外国人」は私費外国人留学生入試を表します。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成23年度 志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							その他の 選抜方法 等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		小論文	配点 合計
情報理工 学部 〔2.3〕※ 100人 AO 100	先端工学基 礎課程(夜間主) 「社会人 コース」 50人 AO 50	AO	大学入試センター試験は課さない。		その他	小論文, 面接		小論文, 面接及び提出書類を総合して合格者を決定する。								
	「インターン シップコース」 50人 AO 50	AO	数	『数Ⅰ・数Ⅱ』と	その他	小論文, 面接		小論文, 面接試験, 提出書類及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定する。								
			理	『数Ⅱ・数Ⅲ』『工』『簿』『情報』から1												
			外	『理総A』『理総B』『物Ⅰ』『化Ⅰ』 「生Ⅰ」「地学Ⅰ」から1 『英』『独』『仏』『中』『韓』から1 〔3教科4科目〕												

○夜間主

【学部・学科等名及び入学定員等】欄

1. 先端工学基礎課程100人の入学定員を「社会人コース」と「インターンシップコース」のそれぞれ50人に分けて募集します。
2. 「社会人コース」と「インターンシップコース」はどちらか一方しか出願することはできません。

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

1. 数学について「工業数理基礎」, 『簿記・会計』を選択できる者は, 職業教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)者に限ります。
2. 理科について, 2科目受験した場合は, 高得点の科目を用います。
3. 『英語』は, 筆記試験とリスニングを利用します。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

大学入試センター試験の外国語のうち『英語』については, 筆記試験(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点250点満点を4/5倍し, 200点満点に換算したものを得点(素点)とします。
なお, 『英語』以外の科目を受験した者及びリスニングを免除された者については, 筆記試験(200点満点)の成績を得点(素点)とします。

※志願倍率は欠員補充第2次募集の志願者を含みます。

IV. 一般入試の方法

総合情報学科、情報・通信工学科、知能機械工学科、先進理工学科（前期日程・後期日程）の選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査、調査書（高等学校卒業程度認定試験合格者及び大学入学資格検定合格者は、その成績証明書）を総合して行うこととしていますが、本学では特に個別学力検査の高得点者については、優先的に合格者とするとしており、詳細は8ページ（5. 合格者の決定）を参照してください。

なお、先端工学基礎課程（夜間主）の選抜では、一般入試は行いません。

1. 出願資格

次のいずれかに該当し、かつ、本学の指定する平成24年度大学入試センター試験の「受験を要する教科・科目」を受験した者

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成24年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成24年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の①から⑥までのいずれかに該当する者及び平成24年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学検定に合格した者を含む。）及び平成24年3月31日までに合格見込みの者で、平成24年3月31日までに18歳に達している者
 - ⑥ 個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者で、平成24年3月31日までに18歳に達している者

（注）出願資格(3)の⑥により出願を希望する者は、あらかじめ入学資格認定審査を行いますので、平成23年9月2日（金）までに入試課に申請してください。ただし、大学入試センター試験出願後に、志望大学を本学へ変更し出願する者は、平成24年1月19日（木）までに申請してください。

なお、本学は大学入試センター試験を利用しますので、大学入試センター試験の出願（受験）をしていない者は審査対象となりません。

2. 平成24年度 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

学部名等			受験を要する教科・科目
情報 理 工 学 部	総合情報学科	前期日程 ・ 後期日程	国 地歴（「世B」「日B」「地理B」） 公民（「現社」「倫」「政経」『倫，政経』） } から1 数（『数Ⅰ・数A』，『数Ⅱ・数B』） 理（「物Ⅰ」「化Ⅰ」「生Ⅰ」「地学Ⅰ」 から2） 外（『英』『独』『仏』『中』『韓』 から1） [計 5教科7科目]
	情報・通信工学科 知能機械工学科 先進理工学科		

- (注) 1. 地理歴史・公民について、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を用います。
 2. 『英語』は筆記試験とリスニングを利用します。
 なお、筆記試験、リスニングのどちらか一方しか受験していない場合は、出願資格はありません（受験できません）。ただし、免除された者は除きます。
 3. 教科の配点については、8ページを参照してください。

3. 個別学力検査

個別学力検査は、次の教科について高等学校卒業程度で出題します。

教科	科目	検査時間	備考
数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B・数学C	前期日程 120分 後期日程 150分	<ul style="list-style-type: none"> 次の範囲から出題します。 数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A：すべての範囲 数学B：「数列」，「ベクトル」 数学C：「行列とその応用」，「式と曲線」
	理 科	物理(物理Ⅰ・物理Ⅱ) 化学(化学Ⅰ・化学Ⅱ)	<ul style="list-style-type: none"> 前期日程では、物理，化学のいずれか1科目を選択とします（学力検査時に選択）。 後期日程では、物理，化学の2科目を必須とします。 次の範囲から出題します。 物理Ⅰ：すべての範囲 物理Ⅱ：「力と運動」，「電気と磁気」， 「物質と原子」の「原子，分子の運動」 化学Ⅰ：すべての範囲 化学Ⅱ：「物質の構造と化学平衡(物質の状態， 反応速度を含む)」 ただし、素材としては「生活と物質」，「生命と物質」の内容を用いることはあり得る。
外 国 語	英語(英語Ⅰ・英語Ⅱ・ リーディング・ライティング)	前期日程 後期日程 90分	

4. 配 点

区分	教科	国 語	地歴・公民	数 学	理 科	外 国 語	合 計
前期 日程	大学入試センター試験	100	50	100	100	100	450
	個別学力検査	-	-	200	100	100	400
後期 日程	大学入試センター試験	50	50	50	100	50	300
	個別学力検査	-	-	300	200	100	600

- (注) 1. 前期日程に関しては、大学入試センター試験の配点は、それぞれの教科・科目の得点(素点)を一律に1/2倍(900点満点を450点満点に換算)します。
 ただし、外国語のうち『英語』については、筆記試験(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点250点満点を4/5倍し、200点満点に換算したものを得点(素点)とします。
 なお、『英語』以外の科目を受験した者及びリスニングを免除された者については、筆記試験(200点満点)の成績を得点(素点)とします。
2. 後期日程に関しては、大学入試センター試験の配点は、それぞれの教科・科目の得点(素点)を次のとおり換算します。
 国語1/4倍、地歴・公民1/2倍、数学1/4倍、理科1/2倍、外国語の『英語』については、筆記試験とリスニングの合計得点を1/5倍、『英語』以外の科目を受験した者及びリスニングを免除された者については、1/4倍。
3. 大学入試センター試験の数学及び理科の配点は、前期日程については、それぞれ2科目の合計得点を1/2倍、後期日程については、数学2科目の合計得点を1/4倍、理科2科目の合計得点を1/2倍します。
4. 個別学力検査(後期日程)の理科の配点は、物理130点、化学70点とします。

5. 合格者の決定

個別学力検査(前期日程・後期日程)において指定した教科・科目をすべて受験した者について、次のとおり合格者を決定します。
 なお、後期日程においては、前期日程で合格し、入学手続きを行った者は選抜の対象から除外します。

(1) 前期日程

- ① 個別学力検査(全教科・科目の合計点)の高得点者について、50名以内を優先的に合格者とします。
- ② 次に、総得点(大学入試センター試験の得点(換算点)と個別学力検査の得点の合計)順に合格者を決定します。

(2) 後期日程

- ① 個別学力検査(全教科・科目の合計点)の高得点者について、25名以内を優先的に合格者とします。
- ② 次に、総得点(大学入試センター試験の得点(換算点)と個別学力検査の得点の合計)順に合格者を決定します。

6. 第1段階選抜

本学は、第1段階選抜を実施しません。

7. 一般入試実施日程

(1) 出願期間

平成24年1月23日(月)～平成24年2月1日(水)

(2) 実施日

前期日程 平成24年2月25日(土)
 後期日程 平成24年3月12日(月)

(3) 合格発表日

前期日程 平成24年3月7日(水)
 後期日程 平成24年3月21日(水)

V. 平成24年度 電気通信大学入学者選抜方法等
(一般入試, 専門高校・総合学科卒業生入試)

選抜方法等 学部・学科名等		個別学力検査等							専門高校・総合学科卒業生入試					個別 学力検査 等の日程	備考 [欠員の補充の方法等]		
		個別 学力 検査を 課する	実技検査等			2段階選抜				個別学 力検査 を課す る	実技検査等					募 集 人 員	
			実技検 査を課 する	面接 を行う	小論文 を課す る	外国語 におけ るリス ニング を課す る	主として 調査書と 入学入試 センター 試験の成 績により 1段階選 抜を行い その合格 者につい て更に必 要な検査 等を行う	第1段階 の 選 抜 格 者 の 数			実技検 査を課 する	面接 を行う	小論文 を課す る				外国語 におけ るリス ニング を課す る
								定員に 対する	その他								
情報 理 工 学 部	前期 総合情報学科 情報・通信工学科													前期日程 2月25日	追加 合格 者で 補う		
	日知能機械工学科 先進理工学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					
	後期 総合情報学科 情報・通信工学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	後期日程 3月12日	追加 合格 者で 補う		
	日知能機械工学科 先進理工学科																

備考 ○印は実施することを示し, ×印は実施しないことを示します。

(特別選抜, アドミッション・オフィス入試)

選抜方法等 学部・学科・ 課程名等		推薦入試※1							帰国子女, 社会 人等のため の特別選抜				アドミ ッション ・オフィ ス入試 ※4	備考	
		入学定員の一部分について, 出身学校長の推薦に基づき, 学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する							推薦入 試募集 人員	帰 国 子 女 ※2	社 会 人	私 費 外 国 人 留 学 生 ※3			中 国 引 揚 者 等 子 女
		実技検査等													
		個別学 力検査 を免除 し大学 入試セ ンター 試験を 課する	個別学 力検査 及び大 学入試 センター 試験を 免除す る	実技検 査を課 する	面接 を行う	小論文 を課す る	外国語 におけ るリス ニング を課す る	その他							
情報 理 工 学 部	総合情報学科 情報・通信工学科 知能機械工学科 先進理工学科	×	○	×	○	○	×	×	69名	○	×	○	×	×	
	先端工学基礎課程 (夜間主)	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	○	

備考 1. ○印は実施することを示し, ×印は実施しないことを示します。

2. ※1 ……12ページ参照
3. ※2 ……13ページ参照
4. ※3 ……14ページ参照
5. ※4 ……10, 11ページ参照

1. 平成24年度 特別選抜（AO入試「社会人コース」（主に社会人を対象とする入試））

電気通信大学

実施学部・課程名	情報理工学部・先端工学基礎課程(夜間主)
募集人員	入学定員100名中50名
出願資格	次のいずれかに該当する者としてします。 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成24年3月卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成24年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (注) この選抜に出願する者は「インターンシップコース」への出願はできません。
出願要件	原則として昼間働きながら夜間に修学を希望する者を対象とし、高度コミュニケーション社会を支える科学技術体系「総合コミュニケーション科学」とその基盤となる自然科学に関する知識と技術の習得・更新に努めようとする意欲のある者で、合格した場合に入学を確約できる者 ただし、入学時に未就労の者であっても、本コースで学びたいという強い意欲のある者は出願を認めます。（未就労の者に対しては、入学後早期に就職又は長期の研修を紹介します。）
選抜方法等	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文試験、面接試験及び提出書類（志望理由書・志願者評価書・調査書等）を総合して行います。
出願期間	平成23年11月1日（火）～11月7日（月）
選抜期日	平成23年11月15日（火）、11月16日（水）
合格発表日	平成23年11月25日（金）
その他	小論文・面接は、理工系への適性及び基礎的能力を問う内容を含みます。

2. 平成24年度 特別選抜(AO入試「インターンシップコース」(主に高校生を対象とする入試))

電気通信大学

実施学部・課程名	情報理工学部・先端工学基礎課程(夜間主)												
募集人員	入学定員100名中50名												
出願資格	次のいずれかに該当し、かつ、本学が指定する平成24年度大学入試センター試験の「受験を要する教科・科目」を受験する者 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成24年3月卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成24年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (注) この選抜に出願する者は「社会人コース」への出願はできません。												
出願要件	夜間に修学を希望する者一般を対象とし(ただし、現場での能力育成を目指し、一定期間仕事を体験する制度であるインターンシップを必須として課します。)、高度コミュニケーション社会を支える科学技術体系「総合コミュニケーション科学」とその基盤となる自然科学に関する知識と技術の習得・更新に努めようとする意欲のある者で、合格した場合に入学を確約できる者												
選抜方法等	小論文試験・面接試験・提出書類(志望理由書・志願者評価書・調査書等)及び本学が指定する平成24年度大学入試センター試験の「受験を要する教科・科目」の成績を総合して合格者を決定します。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">大学入試センター試験の受験を要する教科・科目〔計 3教科4科目〕</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数 学</td> <td>『数Ⅰ・数A』と『数Ⅱ・数B』『工』『簿』『情報』から1の合わせて2</td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td>理 科</td> <td>『理総A』『理総B』『物Ⅰ』『化Ⅰ』『生Ⅰ』『地学Ⅰ』から1</td> <td>100点</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>『英』『独』『仏』『中』『韓』から1</td> <td>200点</td> </tr> </tbody> </table> (注) 1. 工, 簿を選択できる者は、職業教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)者に限ります。 2. 理科について、2科目受験した場合は、高得点の科目を用います。 3. 英語については、「筆記」と「リスニング」を利用し、合計得点250点満点を4/5倍し、200点満点に換算します。	大学入試センター試験の受験を要する教科・科目〔計 3教科4科目〕		配点	数 学	『数Ⅰ・数A』と『数Ⅱ・数B』『工』『簿』『情報』から1の合わせて2	200点	理 科	『理総A』『理総B』『物Ⅰ』『化Ⅰ』『生Ⅰ』『地学Ⅰ』から1	100点	外国語	『英』『独』『仏』『中』『韓』から1	200点
大学入試センター試験の受験を要する教科・科目〔計 3教科4科目〕		配点											
数 学	『数Ⅰ・数A』と『数Ⅱ・数B』『工』『簿』『情報』から1の合わせて2	200点											
理 科	『理総A』『理総B』『物Ⅰ』『化Ⅰ』『生Ⅰ』『地学Ⅰ』から1	100点											
外国語	『英』『独』『仏』『中』『韓』から1	200点											
出願期間	平成23年11月1日(火)～11月7日(月)												
選抜期日	平成23年11月15日(火), 11月16日(水)												
合格発表日	平成24年2月7日(火)												
その他	小論文・面接は、理工系への適性及び基礎的能力を問う内容を含みます。												

3. 平成24年度 特別選抜（推薦入試）

電気通信大学

実施学部・学科名	情報理工学部・総合情報学科，情報・通信工学科 知能機械工学科，先進理工学科
募集人員	入学定員690名中69名
出願要件	高等学校等の大学入学資格を有する学校を平成24年3月卒業（修了）見込みの者（平成23年度において学年途中又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。）で、次に該当し、学校長が責任をもって推薦する者 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者、又は数学及び理科の評定平均値の平均が4.5以上の者
選抜方法等	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文試験、面接試験及び提出書類（調査書・推薦書・志望理由書）を総合して行います。
出願期間	平成23年11月1日（火）～11月7日（月）
選抜期日	平成23年11月15日（火），11月16日（水）
合格発表日	平成23年11月25日（金）
その他	① 各高等学校等の推薦人員枠は、8名以内とします。 ただし、各学科への推薦人員は最大2名までとします。 ② 本学部は、理工系学科を主体とする学部であるので、入学後の学習に支障を来さないように、志願者は卒業までに数学Ⅲ，数学C，物理Ⅱ，化学Ⅱの科目を履修することが望ましい。 ③ 小論文・面接は、理工系への適性及び基礎的能力を問う内容を含みます。

4. 平成24年度 特別選抜（帰国子女入試）

電気通信大学

実施学部・学科名	情報理工学部・総合情報学科, 情報・通信工学科 知能機械工学科, 先進理工学科														
募集人員	若干名														
出願要件	<p>日本の国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の外国勤務等の事情により、外国の学校教育を受けている者のうちで、次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 外国において、「学校教育における12年の課程」のうち最終学年を含め、2年以上継続して教育を受け、卒業（修了）後2年以内の者及び卒業（修了）見込みの者で、平成24年(2012年)3月31日までに18歳に達する者 2 外国において、3年以上継続して正規の学校教育を受け、引き続き日本の高等学校の第2学年もしくは第3学年又は中等教育学校の第5学年もしくは第6学年に編入学を認められた者で、平成24年(2012年)3月卒業見込みの者 3 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格取得後2年以内の者で、平成24年(2012年)3月31日までに18歳に達する者 4 ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格取得後2年以内の者で、平成24年(2012年)3月31日までに18歳に達する者 5 フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格取得後2年以内の者で、平成24年(2012年)3月31日までに18歳に達する者 <p>(注) 「学校教育における12年の課程」とは、滞在国の教育制度に基づく正規の学校教育に位置づけられたものであることを要します。これ以外の教育機関出身者については、出願が認められない場合がありますので、必ず出願前（できるだけ早い時期）に入試課に照会してください。 また、文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設における在学期間は、外国の学校教育を受けた期間に算入できません。</p>														
選抜方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、本学が実施する学力検査、面接試験及び出身学校等の成績を総合して行います。</p> <p>①学力検査の教科・科目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>科目</th> <th>検査時間</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数 学</td> <td>数学I・数学II・数学III・ 数学A・数学B・数学C</td> <td>120分</td> <td>次の範囲から出題します。 数学I, 数学II, 数学III, 数学A:すべての範囲 数学B:「数列」, 「ベクトル」 数学C:「行列とその応用」, 「式と曲線」</td> </tr> <tr> <td>理 科</td> <td>物理(物理I・物理II) 化学(化学I・化学II)</td> <td>100分</td> <td>・物理, 化学のいずれか1科目を選択とします(学力検査時に選択)。 ・次の範囲から出題します。 物理I:すべての範囲 物理II:「力と運動」, 「電気と磁気」, 「物質と原子」の「原子, 分子の運動」 化学I:すべての範囲 化学II:「物質の構造と化学平衡(物質の状態, 反応速度を含む)」 ただし, 素材としては「生活と物質」, 「生命と物質」の内容を用いることはあり得る。</td> </tr> </tbody> </table> <p>②配点/数学 200点, 理科 100点 合計 300点</p>			教科	科目	検査時間	備考	数 学	数学I・数学II・数学III・ 数学A・数学B・数学C	120分	次の範囲から出題します。 数学I, 数学II, 数学III, 数学A:すべての範囲 数学B:「数列」, 「ベクトル」 数学C:「行列とその応用」, 「式と曲線」	理 科	物理(物理I・物理II) 化学(化学I・化学II)	100分	・物理, 化学のいずれか1科目を選択とします(学力検査時に選択)。 ・次の範囲から出題します。 物理I:すべての範囲 物理II:「力と運動」, 「電気と磁気」, 「物質と原子」の「原子, 分子の運動」 化学I:すべての範囲 化学II:「物質の構造と化学平衡(物質の状態, 反応速度を含む)」 ただし, 素材としては「生活と物質」, 「生命と物質」の内容を用いることはあり得る。
教科	科目	検査時間	備考												
数 学	数学I・数学II・数学III・ 数学A・数学B・数学C	120分	次の範囲から出題します。 数学I, 数学II, 数学III, 数学A:すべての範囲 数学B:「数列」, 「ベクトル」 数学C:「行列とその応用」, 「式と曲線」												
理 科	物理(物理I・物理II) 化学(化学I・化学II)	100分	・物理, 化学のいずれか1科目を選択とします(学力検査時に選択)。 ・次の範囲から出題します。 物理I:すべての範囲 物理II:「力と運動」, 「電気と磁気」, 「物質と原子」の「原子, 分子の運動」 化学I:すべての範囲 化学II:「物質の構造と化学平衡(物質の状態, 反応速度を含む)」 ただし, 素材としては「生活と物質」, 「生命と物質」の内容を用いることはあり得る。												
出願期間	平成24年(2012年)1月16日(月)～1月19日(木)														
選抜期日	平成24年(2012年)2月25日(土), 2月27日(月)														
合格発表日	平成24年(2012年)3月7日(水)														

5. 平成24年度 特別選抜（私費外国人留学生入試）

電気通信大学

実施学部・学科名 募集人員	情報理工学部・総合情報学科, 情報・通信工学科, 知能機械工学科, 先進理工学科 若干名																		
出願要件	<p>日本の国籍を有しない者で、次の(1)、(2)、(3)のすべてに該当する者</p> <p>(1) 次のいずれかに該当する者</p> <p>① 日本国外において、学校教育における12年の課程を修了した者（12年未満の課程の場合は、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育課程又は研修施設の課程等を修了する必要があります。）及び平成24年(2012年)3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者</p> <p>② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成24年(2012年)3月31日までに18歳に達する者</p> <p>③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成24年(2012年)3月31日までに18歳に達する者</p> <p>④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成24年(2012年)3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(2) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「平成23年度(2011年度)日本留学試験」において次の科目を受験した者</p> <p>○科目：日本語、理科(物理と化学)、数学(コース2) (理科と数学の出題言語は、日本語、英語のいずれも可能です。)</p> <p>○平成23年度(2011年度)日本留学試験は6月と11月の2回実施されますが、どちらを受験してもかまいません。なお、両方受験した場合はどちらか高得点の成績の方を用います。</p> <p>(3) TOEFL(TOEFL-ITPを除く)又はTOEICを2010年4月以降に受験した者</p> <p>(注) 1. 日本の国籍を有しない者であっても日本の高等学校及び中等教育学校を卒業した者は、一般入試の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜に出願できないので注意してください。</p> <p>2. 日本国永住許可を得ている者は、この選抜には出願できません。</p> <p>3. 「学校教育における12年の課程」とは、滞在国の教育制度に基づく正規の学校教育に位置づけられたものであることを要します。これ以外の教育機関出身者については、出願が認められない場合がありますので、必ず出願前(できるだけ早い時期)に入試課に照会してください。</p>																		
選抜方法等	<p>日本留学試験、本学が実施する学力検査、面接試験、出身学校等の成績及びTOEFL又はTOEICの成績を総合して行います。</p> <p>①学力検査の教科・科目</p> <table border="1" data-bbox="512 1310 1380 1832"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>科目</th> <th>検査時間</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数学</td> <td>数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B・数学C</td> <td>120分</td> <td>次の範囲から出題します。 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A：すべての範囲 数学B：「数列」、「ベクトル」 数学C：「行列とその応用」、「式と曲線」</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>物理(物理Ⅰ・物理Ⅱ) 化学(化学Ⅰ・化学Ⅱ)</td> <td>100分</td> <td>・物理、化学のいずれか1科目を選択とします(学力検査時に選択)。 ・次の範囲から出題します。 物理Ⅰ：すべての範囲 物理Ⅱ：「力と運動」、「電気と磁気」、 「物質と原子」の「原子、分子の運動」 化学Ⅰ：すべての範囲 化学Ⅱ：「物質の構造と化学平衡(物質の状態、反応速度を含む)」 ただし、素材としては「生活と物質」、 「生命と物質」の内容を用いることはあり得る。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">日本語</td> <td>75分</td> <td>・基礎的な日本語の問題を出題します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>②配点/数学 200点、理科 100点、日本語 100点 合計 400点</p>			教科	科目	検査時間	備考	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B・数学C	120分	次の範囲から出題します。 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A：すべての範囲 数学B：「数列」、「ベクトル」 数学C：「行列とその応用」、「式と曲線」	理科	物理(物理Ⅰ・物理Ⅱ) 化学(化学Ⅰ・化学Ⅱ)	100分	・物理、化学のいずれか1科目を選択とします(学力検査時に選択)。 ・次の範囲から出題します。 物理Ⅰ：すべての範囲 物理Ⅱ：「力と運動」、「電気と磁気」、 「物質と原子」の「原子、分子の運動」 化学Ⅰ：すべての範囲 化学Ⅱ：「物質の構造と化学平衡(物質の状態、反応速度を含む)」 ただし、素材としては「生活と物質」、 「生命と物質」の内容を用いることはあり得る。	日本語		75分	・基礎的な日本語の問題を出題します。
教科	科目	検査時間	備考																
数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B・数学C	120分	次の範囲から出題します。 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A：すべての範囲 数学B：「数列」、「ベクトル」 数学C：「行列とその応用」、「式と曲線」																
理科	物理(物理Ⅰ・物理Ⅱ) 化学(化学Ⅰ・化学Ⅱ)	100分	・物理、化学のいずれか1科目を選択とします(学力検査時に選択)。 ・次の範囲から出題します。 物理Ⅰ：すべての範囲 物理Ⅱ：「力と運動」、「電気と磁気」、 「物質と原子」の「原子、分子の運動」 化学Ⅰ：すべての範囲 化学Ⅱ：「物質の構造と化学平衡(物質の状態、反応速度を含む)」 ただし、素材としては「生活と物質」、 「生命と物質」の内容を用いることはあり得る。																
日本語		75分	・基礎的な日本語の問題を出題します。																
出願期間	平成24年(2012年)1月16日(月)～1月19日(木)																		
選抜期日	平成24年(2012年)2月25日(土)、2月27日(月)																		

合 格 発 表 日	平成24年(2012年)3月7日(水)
そ の 他	<p>1. TOEFL, TOEICのスコア提出</p> <p>(1)TOEFLを受験した者は、Official Score Reportが平成24年(2012年)1月19日(木)までに本学へ到着するように、十分余裕を持って米国ETS(Educational Testing Service)に送付を依頼してください。</p> <p>本学の TOEFL Institution Code は 7982 です。</p> <p>(2)TOEICを受験した者は、Official Score Certificate又はScore Reportの写しを出願時に提出するとともに、面接日[平成24年(2012年)2月27日(月)]にその原本を必ず本学に持参してください。</p> <p>2. 日本留学試験に関する問い合わせ先</p> <p>独立行政法人 日本学生支援機構留学生事業部留学試験課</p> <p>〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 電話(03)6407-7457</p>

VI. 障害がある者等の出願

障害のある者等で、受験上特別な措置を必要とする者及び入学後に修学上特別な配慮を必要とする者は、電気通信大学入試課入学試験係へ申し出てください。

なお、申し出の時期については、学生募集要項に記載します。

○申出先

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1
 電気通信大学入試課入学試験係
 電話：042-443-5103
 E-mail：open-camp@office.uec.ac.jp


VII. 学生募集要項の配布

本選抜要項は、電気通信大学における平成24年度入学者選抜の基本的事項についてのみ記載したものであり、入学者選抜に関する細目が記載されている学生募集要項及び出願書類等は、次のように分けて発表する予定です。

- | | |
|---------------------------|-------|
| (1) 大学案内 | 7月下旬 |
| (2) 推薦入試学生募集要項 | 8月上旬 |
| (3) AO入試学生募集要項 | 8月上旬 |
| (4) 一般入試学生募集要項 | 11月上旬 |
| (5) 帰国子女・私費外国人留学生入試学生募集要項 | 11月上旬 |

請求方法

1. 大学のホームページから請求する場合

大学のホームページから  テレメールを利用して大学案内及び募集要項等の資料を請求できます。

詳しくは、電気通信大学ホームページ (<http://www.uec.ac.jp/>) をご覧ください。

2. インターネット(パソコン・携帯電話)又は自動音声応答電話で請求する場合

(1) 下記のいずれかの方法で  テレメールにアクセスしてください。

インターネット (パソコン・携帯電話)	http://telemail.jp	携帯電話でQRコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要。 
自動音声応答電話	IP電話 050-8601-0101 (24時間受付) ※IP電話への通話料金は、一般電話回線からは日本全国どこからでも3分毎に約11円。	

(2) 希望する資料の資料請求番号(6桁)をプッシュまたは入力してください。

資 料 名	資料請求番号	送料
一般入試学生募集要項	5 8 2 1 0 2	2 0 0 円
一般入試学生募集要項及び大学案内	5 4 2 1 0 2	3 9 0 円
推薦入試学生募集要項	5 8 2 1 3 2	2 0 0 円
推薦入試学生募集要項及び大学案内	5 4 2 1 3 2	3 9 0 円
AO入試学生募集要項	5 6 2 1 2 2	2 0 0 円
AO入試学生募集要項及び大学案内	5 6 2 1 3 2	3 9 0 円
帰国子女・私費外国人留学生入試学生募集要項	5 8 5 4 6 2	2 0 0 円
帰国子女・私費外国人留学生入試学生募集要項及び大学案内	5 8 5 4 7 2	3 9 0 円
大学案内	5 6 2 1 0 2	2 4 0 円

(3) あとは、ガイドンスに従って登録してください。

* 発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日になったら一斉に発送されます。その際は、発送開始日の翌日から3日程で資料が届きます。

* 発送開始日以降に請求された資料は請求してから2～3日程で届きます。ただし、受付日時や地域、配達事情によっては、4日以上かかる場合もあります。(日数は請求日の翌日を起算日とします)なお、5日以上経っても届かない場合はテレメールカスタマーセンターへ問合せしてください。

* 送料は、届いた資料に同封されている支払方法に従い、表示料金を支払ってください。支払い方法は「郵便局・ゆうちょ銀行での払込み」「コンビニ支払い」「ケータイ払い(携帯電話通話料金と一緒に支払い)」が利用できます。なお、支払いに際して手数料が別途必要になります(手数料は支払い方法によって異なります)。

* 自動音声応答電話による請求の場合、住所、名前の登録時は、ゆっくりはっきりと話してください。登録された音声の不鮮明な場合は、電話で住所・名前を確認することがありますので、電話番号は必ず登録してください。

3. 郵便局で請求する場合(10月より案内開始)

郵便局(簡易郵便局を除く)に設置される「国公立大学・短期大学及び通信教育課程、大学校募集要項(願書)請求申込書」(郵便局用願書請求カタログ)に必要な事項を記入の上、送料と払込手数料120円を添えて、ゆうちょ銀行又は郵便局の貯金窓口で申し込んでください。受付から1週間程度で送付されます(発送開始日以前の申し込みでは発送開始日の翌日から3日程度で送付されます)。郵便局用願書請求カタログは9月以降、高等学校で入手できる場合もあります。

<p>※上記1～3の請求方法についての問い合わせ先 テレメールカスタマーセンター IP電話 050-8601-0102 (9:30~18:00) まで</p>

4. 直接大学へ請求する場合

(1) 郵送による場合

次の要領で早めに、請求してください。

- ① 大学宛の封筒には、表に請求先の郵便番号・大学名・課名を明記し、次の希望する資料名を朱書してください。（例：一般入試学生募集要項及び大学案内請求）また、裏には差出人の住所・氏名を忘れずに記入してください。
- ② 返信用封筒（角形2号：24.0×33.2cm）を必ず同封してください。封筒の表には、受取人の郵便番号・住所・氏名を明記し、希望する資料の郵送料に相当する切手を貼付してください。

資 料 名	郵 送 料	
	普通料金	速達料金 (普通料金を含む)
推薦入試学生募集要項	200円	470円
AO入試学生募集要項	200円	470円
一般入試学生募集要項	200円	470円
帰国子女・私費外国人留学生入試学生募集要項	200円	470円
推薦入試学生募集要項及び大学案内	390円	760円
AO入試学生募集要項及び大学案内	390円	760円
一般入試学生募集要項及び大学案内	390円	760円
帰国子女・私費外国人留学生入試学生募集要項及び大学案内	390円	760円
大学案内	240円	510円

※上記郵送料は、それぞれ1部（1式）の料金です。

〔請求先〕

〒182-8585（所在地記載不要）

電気通信大学入試課

(2) 直接取りに来る場合

次の窓口で入手できます。

入試課窓口，正門守衛所

東京都調布市調布ヶ丘1-5-1

電話 042-443-5103

（注）土・日・祝日は正門守衛所でのみ配布しています。

VIII. 電気通信大学の紹介

1. 情報理工学部（昼間）の目的と内容

情報理工学部（昼間）は、総合コミュニケーション科学の分野において、国際標準の基礎学力と学士力を身に付け、国際性と実践力を伴う確かな専門基礎力と継続的学習能力をもつ技術者を育成することを目的としています。そのために、勉学への取り組みに向けた十分な意欲および基本的能力の獲得と、それらを踏まえた確かな専門基礎学力の修得に重点をおいた幅広い学びの後、個々の学生が、自己の資質、目標に即して柔軟に進路を選択し専門性と学士力を身につけてゆくことができるような教育課程となっています。

具体的には、「総合情報学科」、「情報・通信工学科」、「知能機械工学科」、「先進理工学科」の4学科から構成されています。学部の1年次は主に学部共通教育を、2年次は主に学科共通教育を、そして3年次からそれぞれの学科に配置されている専門コース（専門プログラム）のいずれかに分属して4年次終了時まで専門教育を受け学士課程を修了することになります。そして、その専門コースは大学院博士前期課程まで連続しています。

2. 情報理工学部（夜間主）の目的と内容

夜間主には1つの学科（課程）「先端工学基礎課程」が置かれています。その目的は、勤労者・社会人に対して総合コミュニケーション科学に関わるものづくりに必要な専門教育を授け、教育の機会均等と成人教育の充実を図り、もって社会、文化の進展に貢献することであり、産業界における技術的課題について、その内容を工学的に読み解いて解決手順を見出すことができ、そのために必要な基礎力とさまざまな分野への適応力を身につけている専門的職業人の育成を目指しています。

先端工学基礎課程では、3年生からの専門プログラムとして、「情報・メディア・通信プログラム」と「電子・機械・制御プログラム」が設定されています。この2つの専門プログラムによって、昼間で展開している総合コミュニケーション科学に関わる科学技術分野のほとんどをカバーするとともに、希望者は昼間の一部の授業を30単位まで取得することができる課程となっています。

履修には「社会人コース」と「インターンシップコース」の2つのタイプがあります。

「社会人コース」：

昼間に長時間働く社会人学生を対象とするコース。1年次の社会人コースの「アカデミックリテラシー」では大学での学習のための基礎の習得を目指す。また、本コース学生の職場での経験に基礎を置いた「技術課程演習」がカリキュラムに組み込まれている。希望する学生には、本コースの学生に適した昼間の就業先(就職もしくは長期研修)を紹介しします。

「インターンシップコース」：

社会人以外で夜間の修学を希望する一般の学生を対象とするコース。1年次のインターンシップコースの「アカデミックリテラシー」では、実社会での自己形成の準備を目的としたキャリアデザイン教育をおこなう。また、現場での能力の育成を目指す企業等で一定期間の実務体験とそれに基づいた課題演習を行なう「インターンシップ」がカリキュラムに組み込まれている。実務体験を行なう企業等は大学が用意し、学生と相談の上で体験先を決めます。

1年次入学生の学生募集は、これら「社会人コース」と「インターンシップコース」で異なった選抜方法によりおこないます。

3. 各学科について

(1) 総合情報学科

【学科の特徴】

総合情報学科は、社会における情報機器の普及、情報メディアの多様性、情報への各種脅威、情報活用領域の拡大といった情報環境の変化に対応し、「人と人」、「人と社会」のコミュニケーションの高度化を通じた社会の発展を目指して、情報技術の活用分野を開拓し発展させる技術者の養成を目的とした学科です。

1, 2年次では、情報技術者として必要なハードウェアとソフトウェアに関する学習を行い、特に演習科目を多く配置し応用力も身につけます。

3年次以降は「メディア情報学」、「経営情報学」、「セキュリティ情報学」という専門コースに分かれ、各種の情報活用技術に重点をおいた実践的教育を受けます。

【専門コース（3年次より）】

・メディア情報学コース

情報技術を基礎とした豊かで快適な情報メディアの開発と応用を教育・研究します。映像・音響・触感などの情報処理を用いた五感メディア、人工知能技術を用いた知的メディア、どこでも使える社会的メディアなどを学びます。

＜キャリア・イメージ＞ コンピュータ技術者、メディア技術者、メディアデザイナー、ネットワーク技術者

・経営情報学コース

情報技術を活用し企業で経営科学を実践するための方法論を教育・研究します。経営工学分野の中で、数理、情報、人間を教育の柱として位置づけ、企業のマネジメントシステムや情報システムの開発・運用を学びます。

＜キャリア・イメージ＞ システムエンジニア、生産・品質管理技術者・金融アナリスト・経営コンサルタント

・セキュリティ情報学コース

安全な社会を目指し情報セキュリティ技術の開発と応用を教育・研究します。コンピュータのハード・ソフト、ネットワーク上の個人情報、メディアの著作権等の、情報処理を駆使した各種の保護対策技術を学びます。

＜キャリア・イメージ＞ ネットワーク技術者、セキュリティ技術者、コンピュータ技術者、システム管理技術者

(2) 情報・通信工学科

【学科の特徴】

情報・通信工学科は、安全で快適な社会の基盤となる新たな情報・通信技術を生み出すことを目指す学科です。コンピュータや通信・ネットワークの基礎となる数学と、電気・電子の現象に関する物理学の理解を通して初めてその実現が可能です。

本学科では、1, 2年次に数学と物理学およびコンピュータ技術の基礎をじっくり学んだ後、3年次からは視点の異なる4つのコースに分かれ、より専門的な学問を身につけます。

多様な通信・電気電子実験やコンピュータ実験を通して実践力を身につけ、工房科目を通して本格的なハードやソフトの「ものづくり」を経験できます。

【専門コース（3年次より）】

・情報通信システムコース

電気・電子・システムの基礎を身につけた上で、情報・通信理論、誤り訂正技術、暗号化

技術などを学び、無線・有線および光通信のためのシステムやデバイスの設計法や通信ネットワークの技術を習得します。

＜キャリア・イメージ＞ 情報通信技術（ICT）関連技術者、ネットワークシステムの設計技術者、電子・情報・通信機器の設計開発に携わる技術者、それらの関連技術者

・電子情報システムコース

音響・画像・知能処理、電磁波伝送・宇宙観測などに用いられる様々な電子情報システムの構築技術の基礎となる理論と手法について、エレクトロニクスの基礎の上にプログラミング・電子回路などの実験・演習を通して学びます。

＜キャリア・イメージ＞ ICT関連技術者、電子・情報・通信機器システム開発に携わる技術者

・情報数理工学コース

現実の様々な現象を数理モデルを用いて記述・計算・予測する手法を学びます。高性能計算、シミュレーション、最適化、アルゴリズム解析などの情報数理の基礎的な知識と応用力を身につけることができます。

＜キャリア・イメージ＞ 情報システム・情報機器の開発に携わる技術者、情報数理技術に関する研究者

・コンピュータサイエンスコース

ハードウェアとソフトウェアの双方に精通したバランスのとれた知見を有する情報処理技術者の育成を目指して、高度情報化社会の発展に不可欠なコンピュータの基礎とその先進的応用についての実践を学びます。

＜キャリア・イメージ＞ 情報システムの設計開発に携わる技術者、新しい情報技術の開発に携わる技術者

（3）知能機械工学科

【学科の特徴】

知能機械工学科は、自動車、新幹線、船舶、カメラ、テレビ、コンピュータ、ロボット、通信衛星、宇宙ステーション、超精密測定器、医療機器、環境装置などのハイテク製品とその生産システムといった高度な機械システムに関係した学問分野を学ぶ学科です。

少資源国日本は、省エネ、省資源、高知能型の付加価値の高いメカトロニクス技術を生み出し世界をリードしてきました。本学科は、機械とコンピュータやエレクトロニクスとの融合に力を入れ、さらに時代の要請に応え、知的制御・情報を組み込んだ「知のメカ」を発展させていきます。

【専門コース（3年次より）】

・先端ロボティクスコース

ロボットのメカと知的制御、脳による機械の操作を行うインターフェース、マイクロロボットファクトリ、感覚情報のセンシングと処理、バーチャルリアリティ技術など、知的で人間と共生できるロボットの創出について学びます。

＜キャリア・イメージ＞ ロボット、自動車、産業機械、情報機器などの高度なメカトロニクス技術における設計・開発技術者

・機械システムコース

機械設計における計算機支援、創造的加工法の開発、材料の強度と破壊の物理、流体に関す

る数理と制御，計算力学と数値シミュレーションなど，機械システムの設計開発に関する先端的基盤技術の創出について学びます。

＜キャリア・イメージ＞ 自動車，家電機器，ロボット，生産ラインなどの各種機械の設計・開発技術者

・電子制御システムコース

制御・計測，信号処理技術を核として，自動車，航空宇宙機器などの制御，高度レーダシステムの構築，人間との適合を図る生体情報処理など，賢くて人間にやさしい先端システムの創出について学びます。

＜キャリア・イメージ＞ 家電機器・情報機器，自動車・航空宇宙機器，ロボット，工場，建築物などの制御システムの設計・開発技術者

（４）先進理工学科

【学科の特徴】

先進理工学科では，現代社会の工業技術，特に電子技術，光技術，自然科学に支えられたエレクトロニクスと関連の基盤科学技術の果たす重要性に注目した学科です。本学科では，3年次以降に「電子工学コース」，「光エレクトロニクスコース」，「応用物理工学コース」，「生体機能システムコース」の4専門コースを設けています。自然科学の基礎学力を身につけるとともに，現代の情報化基盤技術である電子工学，光エレクトロニクス，物理工学，量子工学，分子工学，生物工学の基礎を学習し，未来型ものづくりを目指して，社会に適応した実践的応用能力を身につけます。

【専門コース（3年次より）】

・電子工学コース

高度情報化社会を支える電子・光デバイスの設計・開発を担う人材を目指して，電子デバイスの基礎から集積回路設計までをカバーするカリキュラムを通して，研究開発現場で通用する電子工学の基礎力と応用力を身につけます。

＜キャリア・イメージ＞ 最先端電子機器の技術開発に携わる研究者やエンジニア

・光エレクトロニクスコース

高度情報化社会のニーズに応えるべき広い視野と見識を備えた専門技術者を目指して，光エレクトロニクスの基盤となる光機能材料，光デバイス，光通信・情報処理システムに関した幅広い基礎を学びます。

＜キャリア・イメージ＞ 光デバイス・情報通信機器の技術開発に携わる研究者やエンジニア

・応用物理工学コース

原子・分子や電子の本質から生まれる極限的な先端技術を理解し，先端材料開発における，新しい機能を持つデバイスの発見と創造のできる人材を目指して，応用物理学の基盤となる力学，電磁気学，量子力学などを学びます。

＜キャリア・イメージ＞ 機能材料や計測機器の技術開発に携わる研究者やエンジニア

・生体機能システムコース

資源循環型社会の構築と“未来型ものづくり”を担う人材を目指して，洗練された物質・エネルギー・情報システムである生体の階層性，物質生産，エネルギー変換，機能発現，情報伝達・処理機構などを学びます。

＜キャリア・イメージ＞ 生体機能材料の開発や応用に携わる研究者やエンジニア

（５）先端工学基礎課程（夜間主）

【課程の特徴】

昼間働きながら総合コミュニケーション科学に関わる先端分野を学びたいという人のための課程で、平日の夜間と土曜日に開講しますが、昼間にある学科の授業の一部も履修することができます。

1，2学年次では、ものづくりマインドを育成しながら工学基礎を徹底して学び、3年次からは2つの専門プログラムのどちらかを必須選択して専門性を養います。産業界における技術的課題について、その内容を工学的に読み解いて解決手段を探し出すことができる基礎力とさまざまな分野への適応力を身につけます。

【履修タイプ】

「社会人コース」

昼間に長時間働く社会人学生を対象とするコース。職場での経験を活用した「技術課程演習」がカリキュラムに組み込まれているのが特徴です。就業なしで卒業することはできないため、未就労の学生には就職もしくは長期の研修を紹介しています。

「インターンシップコース」

夜間の修学を希望する者一般を対象としたコース。企業等での一定の期間の実務体験とそれに基づいた課題演習からなる「インターンシップ」がカリキュラムに組み込まれているのが特徴です。実務体験を行う企業等は大学が用意し、主に3年次に行われます。

【専門プログラム（3年次より）】

・情報・メディア・通信プログラム

情報の生成，加工，伝送，制御などの分野を専攻するプログラムです。情報技術に関するハードウェアとソフトウェアの両面からの基礎的素養を身につけ，多様な情報メディアと各種の情報通信システム，情報ネットワークに関する基本的な技術と概念を獲得した，実践力のある人材を育成します。

・電子・機械・制御プログラム

知能メカトロニクス分野を専攻するプログラムです。情報，設計，生産，電子，制御といった要素技術とそれらを統合しシステム化する技術を体系的に理解し，産業製品開発のための基礎知識，思考法，および，システム化能力を身につけた，実践力のある人材を育成します。

